

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本精練株式会社 枚方工場 第7	階数	地上1F
建設地	枚方市池之宮4丁目	構造	S造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	8人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2019年9月20日
敷地面積	3,326㎡	作成者	株式会社URリンクージ西日本
建築面積	2,751㎡	確認日	2019年9月20日
延床面積	2,166㎡	確認者	株式会社URリンクージ西日本



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 88%

③ 上記+②以外の: 88%

④ 上記+: 88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	3.3
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

機能性	2.4
耐用性	3.0
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.3

生物環境	1.0
まちなみ	1.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	4.8
自然エネ	3.0
設備システ	3.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6

水資源	2.2
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.4
地域環境	3.2
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	建物内部は、F☆☆☆☆の使用や遮音性の高い開口部の採用で快適な空間としている。また耐用年数の高い内装仕上材の採用などで資源保護を考えている。	その他 特に無し
Q1 室内環境	遮音性能の高い開口部を採用 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し
LR1 エネルギー	LED照明の採用	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS+PB)
		LR3 敷地外環境 ガス燃焼機器を使用しない ライフサイクルCO ₂ 排出率=88%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0089

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	日本精線株式会社 枚方工場 第7工場東 平屋建倉庫棟新築工事					
		建設地	枚方市池之宮4丁目					
		用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					3		
②	みどり・ヒート アイランド対策					2		
③	建物の断熱性					5		
④	エネルギー削減					3		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.8	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.4	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称	考慮事項					
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								